

●個別学習

■児童生徒実践型

実践タイトル

学習者用デジタル教材を活用した算数科実践

本時のねらい

帯グラフや円グラフをかく。個別学習には、1人1台のタブレットPCと学習者用のデジタル教科書を活用し、児童一人ひとりが試行錯誤したり、自分の考えを表現したりするためのツールとして活用する。また、めあてにそって学習を進めるために電卓ソフトを使用する。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

1人1台のタブレットPCで学習者用デジタル教科書を活用し、自分の考えを表現したり、電子黒板とつないで発表させる。

学習者用デジタル教科書

学習者用のデジタル教科書を活用し、グラフのかき方についてポイントを押さえながら学習させることで、自力解決を支援する。

参考にしてほしいポイント

学習者用デジタル教科書や電卓ソフトを活用することで「割合をグラフに表す」というめあてに沿った活動ができた。また、授業支援システムを使ってタブレットPCと電子黒板をつなぐことで、学習者用デジタル教科書に書き込んだ内容を拡大提示することができた。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	0 ○前時を振り返り、本時の問題を知る。	・電子黒板／指導者用デジタル教科書／タブレットPC
		10 ○帯グラフや円グラフのかき方の手順を知る。	・電子黒板／学習者用デジタル教科書(写真1)
	展開	○アンケート結果(学校全体・5年生)を基に、それぞれの割合を求め、百分率で表す。 ○アンケート結果の割合を帯グラフと円グラフに表す。	・電卓ソフト ・タブレットPC／学習者用デジタル教科書(写真2)
	展開	35 ○学校全体と5年生のグラフを比較して気付いたことを話し合う。	・授業支援システム(写真3)
まとめ	40 ○本時の学習をまとめ、本時を振り返る。	・デジタルノートアプリケーション(ノートを整理しプリントアウト)	



写真1：電子黒板でコンテンツの使い方を指導



写真2：児童のタブレットPCの画面

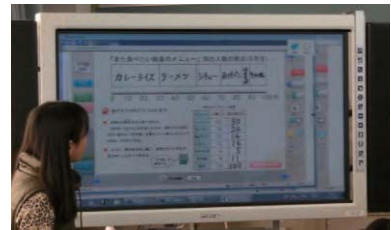


写真3：児童のタブレットPCを電子黒板に転送

児童生徒の反応

- ・グラフのコンテンツを使うと簡単にかくことができた。
- ・割合をグラフに表すと、パッと見て分かりやすいから便利。
- ・クラスでアンケートをとってアンケートの結果を円グラフや帯グラフに表してみたい。

活用効果

評価の観点	数量や図形についての技能
具体的変容	学習者用デジタル教材を活用することで、割合を求めて大きい順に並べ替えたり、めもりを読んで区切ったりするなど、割合を帯グラフに表すというめあてに沿った活動に取り組むことができた。表し方を間違った児童でも簡単にかき直すことができ、何度も取り組むことができていた。児童が表したグラフを電子黒板に拡大提示し、それをもとに学級全体でグラフから読み取ることができることを話し合うことができた。

実践の手応え

身の回りには、割合で表されたさまざまな事象があり、広告や新聞には帯グラフや円グラフで表されているものも多い。割合を求めたり、めもりを読んで区切ったりするなど、帯グラフや円グラフをかく活動を通して、割合を視覚的に分かりやすく表し、その有用性を体感し、日常生活や他教科と関連付けて学習を深めることができた。